

DMG MORI SAILING TEAM

— Vendée Globeへの道 —

皆さま、こんにちは！

「DMG MORI SAILING TEAM」と白石康次郎選手の挑戦をお伝えするメルマガ

『DMG MORI SAILING TEAM -Vendée Globe への道-』の第17号です。

今回も引き続き、「Vendée Globe 2020」での白石選手の情報やレースの展開を中心にお伝えします。



11月27日に赤道を通過！
DMG MORI Global One 号が初めて南半球へ！

「Vendée Globe 2020」がスタートしてから2回目の配信となる今回、まずは、この2週間の白石選手の動きからまとめておきましょう。

前号の本メルマガでは、強風によるワイルドジャイブで破損したメインセイルを修理したところまでお伝えしました。限られた工具で、揺れる船上での修理は困難を極めました。不完全ながらメインセイルの修繕は完了し、白石選手は希望を持ってレースに復帰しました。これが11月21日のことです。



接着剤を広範囲で均一に塗りやすいように、備品のヘラをくし目に改造してメインセイルを修繕。

11月23日には、IMOCAからの依頼により、気象ブイを海に投下しました。これは、潮の流れや気圧を計り、海水汚染予防の研究に役立てるためのもの。近年、環境問題に力を入れているIMOCAはこうした活動も実施しています。



赤道へと南下中の白石選手は気象ブイを海に投下。

白石選手はその後、「ドルドラムス(赤道無風帯)」につかまってしまう、なかなか思うように進めない状況となりました。無風の中でもわずかな風をつかまえて前進するのですが、逆風のスコールで押し戻されることもあります。赤道付近は風が弱いエリアですが、北半球と南半球の貿易風が上昇気流を生むためスコールも起こりやすく、Vendée Globe序盤の関門となっています。

また、無風だからといって体を休められるわけではありません。レース中でも船の点検や修理、メディア出演もあり、スキッパーには休む暇もないのです。

とはいえ、もちろん気分転換も必要です。海の上では食事や元気の源。大好きな赤飯を食べると、気持ちも上がります。また、本メルマガ12号で紹介したTUBEの皆さんからの応援歌にも元気づけられているとのこと。



作業やメディア出演に追われるなかでも、食事や音楽で英気を養う白石選手。

11月25日、DMG MORI Global One号に縁起の良い来客がありました。トンボです。トンボといえば、前にしか飛ばないとされていることから、戦国武将が兜や着物の柄に採用する縁起物であることが知られています。あの小さな体で、この広い海を渡っていく姿に、白石選手も勇気づけられたそうです。



11月25日、白石選手はデッキでトンボを発見。

トンボのご利益かどうかはわかりませんが、翌日の11月26日に白石選手はドルドラムスを抜け、さらに翌日の11月27日現地時間早朝の5時43分、DMG MORI Global One号は赤道を越えました。DMG MORI Global One号が初めて南半球に入った瞬間です。

Vendée Globeでは、赤道通過の祝い酒を披露することが恒例行事です。他のスキッパーたちがビールやワイン、シャンパンなどで乾杯するなか、白石選手は長年のスポンサーである八海醸造様の「八海山」で赤道通過を祝いました。



11月27日に赤道を通過し、八海山で祝う笑顔の白石選手。

修理したメインセールも不完全ながら風をつかんでくれています。シュノーケルの故障でウォーターバラストが使えなくなるなど、細かいトラブルはありますが、世界一過酷なレースといわれるVendée Globeでは、この程度でめげてはいられません。

赤道を通過したことを八海山で祝った白石選手からは、希望峰やルーウィン岬、ホーン岬でもまた乾杯をしたいとのコメントが届いています。もちろん完走したら最高の美酒が待っています！

「Vendée Globe 2020」レース展開

有力選手の動向、この2週間のレースの展開についても情報をまとめておきましょう。

まず、優勝候補の一角だったアレックス・トムソン選手(HUGO BOSS)のリタイアが発表されました。トムソン選手は、「Vendée Globe 2012」では3位、「Vendée Globe 2016」では2位に入った実力者だけに、このニュースには大きな衝撃が広がりました。

序盤から先頭争いを繰り広げていたトムソン選手ですが、船内前方のバルクヘッドにクラックが発生しているのを11月21日に発見し、修理を試みたとのこと。この修理は2日間で終了してレースに復帰しましたが、11月27日に、今度は右舷側のラダーを損傷し、レース続行は不可能という判断を下したようです。

実は、白石選手が「Vendée Globe 2016」で乗った「スピリット・オブ・ユーコー号」は、過去にトムソン選手が所有していた船を中古で買い取ったもの。縁の深いトムソン選手リタイアのニュースを受けて、白石選手は以下のようなコメントを発表しました。

「アレックスは私の古くからの友人です。このようにリタイアしたのは残念でなりません。斬新な船を作り、最先端のプロジェクトを常に作り上げる彼のことを尊敬しています。Vendée Globeは過酷なレースです。私もさまざまな問題に直面していますが、アレックスの想いを繋ぎ、ゴールできるような全力を尽くします。アレックスが無事にケープタウンに寄港し、家族と再会することを祈っています」



「Vendée Globe 2016」で「スピリット・オブ・ユーコー号」について語り合う白石選手とトムソン選手。

そして、トムソン選手に続いて、同じく上位でレースを進めていたケビン・エスコフィエ選手(PRB)にも大きなトラブルが起きました。11月30日の現地時間13時46分、船体を破損して大量の海水が浸入したためメーデー(遭難信号)を発信、船内に留まることをあきらめて救命ボートで脱出しました。

ケビン・エスコフィエ選手(仏/40歳)
PRB(ピー・アール・ビー)



レース委員会は、エスコフィエ選手といちばん近い場所を航行中だったジャン・ルカム選手(Yes we Cam!)にエスコフィエ選手の救助を要請、その後、ボリス・ハーマン選手(Seaexplorer- YACHT CLUB DE MONACO)、ヤニック・ベスタベン選手(Maître CoQVI)、セバステアン・シモン選手(ARKEA-PAPREC)も加わって捜索を行いました。

その結果、12月1日の現地時間1時18分に、ルカム選手がエスコフィエ選手の救出に成功したとの連絡が入ったとのことでした。

3大会前の「Vendée Globe 2008」では、ホーン岬で転覆事故に遭ったルカム選手を、PRBの当時のスキッパーだったビンセント・リウ選手が救出したことがありました。今回、ルカム選手がPRBのエスコフィエ選手を救出したのも、なにかの縁といえるかもしれません。

なお、救助にあたった4選手については、最終的なレースタイムから救助にかかった時間を差し引いて順位を決めるというルールになっています。

優勝候補の最有力といわれていたジェレミ・ベユ選手(Charal Sailing Team)が、フォイルやラダーのトラブルでいったんレ・サーブル・ドロンヌ港に引き返したのに続いて、トムソン選手やエスコフィエ選手といった上位陣がリタイアしたことで、トップ争いはどうなっていくのでしょうか。

12月1日時点でトップを走るのはシャルリー・ダラン選手(APIVIA)。Vendée Globeは初挑戦ですが、予選レースの「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」ではベユ選手に次ぐ2位でフィニッシュしている有カスキッパーの1人です。

シャルリー・ダラン選手(仏/36歳)
APIVIA(アピビア)



ダラン選手以降は団子状態ですが、中でも安定して上位をキープしているのが、予選レースの「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」で3位だったトマ・ルイヤン選手(LinkedOut)です。

ただ、ルイヤン選手も万全というわけではなく、11月25日、フォイルに多数のひびが入るといったトラブルがありました。トラブルが発生した11月25日の時点で、右側のフォイルだけを使ってこのままレースを続行するという発表があり、12月7日時点でも上位争いをキープしています。

お伝えしているように、優勝候補の選手ですら順調にはいかないのがVendée Globeです。大自然を相手に挑むこのレースでは、トラブル自体は避けられませんが、できる限り事前に回避する準備も必要ですし、起こってしまったトラブルにいかに対処し、乗り越えていくかも大きなポイントとなります。

白石選手もメインセールの破損という大きなトラブルを乗り越えてレースを続けています。今後、レースの舞台は厳しさを増す南氷洋へと移っていき、まだまだ困難が立ちほだかるでしょう。たゆまず力強く前に進み続ける白石選手に、引き続き熱い応援をよろしくお願いいたします。

「Vendée Globe 2020」

トラッキングサイトはコチラ

<https://en.dmgmori.com/company/dmg-mori-sailing-team-jp>



こちらより最新情報をチェック！



@gokojiro_vendeeglobe2020

白石康次郎 Vendée Globe 応援アカウント
ぜひフォローをお願いします！



GOLD SPONSOR

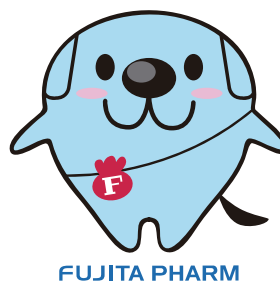


SILVER SPONSOR

GOLDWIN



BRONZE SPONSOR



OFFICIAL SPONSOR



HAIMER



医療法人社団 愛友会

上尾中央総合病院

Ageo Central General Hospital